

9回目『人間間違い探し』

9回目のミニ活動の紹介は「人間間違い探し」です。

この活動は自分自身を使って間違い探しをする活動です。

まず、変身前の自分の姿を見せ、答える人に服装などを覚えてもらいます。

その後、見えないところで服装の一部を変えます。例えば、「靴下を脱ぐ」「洋服の袖をまくる」などです。あらかじめ、変える場所を2個などと決めておくといいですね。

そして、変身後の姿を見せ、どこが変わったのかあてっこする活動です。

変身する人を変えながら繰り返し遊ぶことができます。変身前の写真を撮っておいて、変身後と比べても楽しいです。

この活動は、大事そうなことを考えながら見たり、覚えたりする力が身につく活動です。「そでがあやしいぞ」「お母さんの髪の毛の結び方が変わるかも！」など、変化しそうなところを考えて見たり、「上から順によく見て覚えよう」など見ながら覚える方法を試したりと自然に考え実践することができます。

また、変身側になったときは、ちょうどよい難易度の問題を作るため、相手のことを考える力も伸ばすことができます。「僕の変身は、洋服の袖が5ミリ上げたところです」「下着を裏返しにしました」など、見ても変化に気が付かないほどの小さな変化や見えないところを変えてもつまらないですよ。

お子さんによっては、「当てられたくない」という気持ちが働き、難易度の高い変身を考える場合があります。そんな時は、「え～、難しすぎるなあ。もう少し簡単だと答えが分かって楽しいんだけどな」と、気持ちを伝えてみるといいと思います。難易度を変えるか変えないかはもちろんお子さん次第なのですが、楽しく活動するためには相手の気持ちも考えるといいことに気づくきっかけになることもあります。

やり方さえわかれば、簡単な活動です。慣れてきたら、小道具ありにしたり、ペアになって変身したりと、楽しみながら挑戦してみてください。